

顧客の視点に立った 技術開発で付加価値高める

オンライン技術
メイドイン
ジャパン



多品種の効率生産体制を構築

業務内容
高圧ポンプ技術を生かし
成長、幅広い分野に供給

農業用に開発した国産初の高圧ポンプの技術を核に、防除機などの農業機械や、洗浄機などの産業機械を中心として品ぞろえを拡充してきた。今では産業分野の売り上げが農業分野を上回っている。主力の高圧洗浄機は、自動車部品や機械部品の工場に加え多くの食品工場で使われている。

中核技術を応用し、水の超微粒子化で細かい霧を発生するシステムも開発。例えば畜産用では牛舎内に設置し、噴霧することで室温を下げ、搾乳に快適な環境が実現する。農業用では、作物の生育状況を改善する試みも研究中だ。

強み
顧客の声に答え続け、
世界70カ国に納入

大正12年の創業以来約95年間、ポンプで培った水圧技術を生かし、さまざまな業界のニーズに対応しながら他社にない製品を数多く生み出してきた。今や製品の種類は、産業分野で1,000以上にのぼる。有光幸紀社長は「高付加価値経営」の方針を打ち出しており、ユーザーの安全と収益向上を考えた技術開発を強化している。

納入先も全世界にわたり、北米や欧州、中南米、アジアなどの地域70カ国に農業機械や産業機械を輸出している。ポンプの先駆けとして国内生産にこだわり、耐久性や安全性、機能性を高めつつ、新製品・新技術で顧客の声に応える。

独自製品
農業の作業効率や安全性
を向上、将来性も確保

個人の農家を中心に採用が進んでいるのが、平成12年から販売している農業散布用の

ノズルだ。静電技術を利用し、噴霧する農薬を農作物の葉の裏までしっかりと付着させることが可能。これにより土壌に落ちるムダな農薬を削減するほか、作業者の体にかかってしまう農薬の量も低減できる。さらに、作業時間が短縮されることから、より広くの区画の作業にも時間を充てることが可能となり、休耕田を少なくできるとも見込む。海外にも展開していきたい考えだ。

こうした技術で、有光社長は「農業を楽にして、跡を継ぐ人にも安全を提供したい」と業界の将来に向け布石を打つ。

今後の展望
先端技術活用で農業の課題
解決、自社にも変革を

国内農業は就農者の高齢化や担い手不足といった問題を抱える。防除などの作業負担軽減に向け、省人化・自動化が今後の大きなテーマだ。そこでIoT（モノのインターネット）やロボット技術を用いた研究開発に取り組む。海外への展開も狙い、農業分野の巻き返しを図る。産業分野では、全自動で泡を噴霧し床面を洗浄する小型の装置を食品工場向けに開発、好評を得ている。

創業100年が視野に入り、有光社長は「環境に対応するのではなく、環境を自ら変える企業が生き残る」として技術革新や人材育成で変革を起こしていく。



中核技術の高圧プランジャポンプ



省スペース型のパレット洗浄機

当社の歴史



揚水ポンプや消防ポンプの製造販売から始まり、日本初の高圧プランジャポンプの開発を機に農業分野に展開しました。その後、醸造樽のラベル剥離用高圧洗浄機が好評を得て産業分野にも進出しました。今後もポンプで培った水圧技術をもとに、「人と環境にやさしい」製品を提供して参ります。

代表取締役社長 **有光 幸紀さん**

全国28
ISO 9001
ISO 14001

主な事業内容

高圧ポンプ、洗浄機、防除機、農業用機械器具の製造・販売

主な取引先(納入先)

金属加工メーカー、土木建設業界、機械工具商社、食品工場、農機具メーカー、施設園芸農家、果樹畜産農家

●住所

〒537-0001
大阪市東成区
深江北1-3-7

●TEL

06-6973-2001

●FAX

06-6973-2072

●創業

大正12年4月

●設立

昭和20年5月

●資本金

1億5,000万円

●従業員

250名

<http://www.arimitsu.co.jp/>